

施策番号 1-2-2	施策名 児童福祉の充実	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
		政策名	子育てしやすいまちづくり			
主管課 施策関係課	主管課	子育て支援課	課長名	杉山 ゆかり	内線	580

## 1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果
児童の健やかな心身の成長を促すとともに、幼保相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		児童 保護者	・児童の健やかな心身の成長 ・幼保相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる				保護者が安心して子どもを預けることができる
成果指標	説明	単位	2011年度(策定時)	2017年度実績	2018年度実績	2018年度目標	
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可94.0 農村85.0	認可89.4 小規模91.3 農村97.9	81.4	90.0	
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0人/年	0人/年	0人/年	0人/年	
③ 子どもセンターに満足している利用者の割合	利用者アンケート	%	未調査	89.0	91.8	90.0	
成果指標設定の考え方	①は、保育所を利用する保護者の満足度90%を目指すため、成果指標に設定(2018年度から保育施設に認定子ども園が加わったため、保育施設の区分なし)。 ②は、待機児童ゼロを継続するため、成果指標に設定。 ③は、利用者の満足度90%以上を目指すため、成果指標に設定。						

## 2. 施策の事業費

	2017年度決算	2018年度決算
施策事業費(千円)	1,446,759	707,283
人工数(業務量)	4.8155	4.0687

## 3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2018年度の成果評価(前年度比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した <input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	成果指標①は保護者アンケート対象者拡充により低下。成果指標②は保育所待機児童ゼロの継続。成果指標③は子どもセンター等の安定的な運営により、成果は向上。
②第4期総合計画(後期実施計画)の最終的な目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 目標は達成できた <input type="checkbox"/> 目標は概ね達成できた <input type="checkbox"/> 目標は達成できなかった	根拠(理由)	・①と②は、認可保育所、認定子ども園、小規模保育事業所のほか、町立保育所の運営により、多様な保育ニーズに応じた保育施設と保育環境が整った。保育所待機児童ゼロの継続に繋がっている。 ・③は、町内2つの子どもセンター及び1つの児童館を安定的に運営することにより、子どもが放課後の時間を健全で安全に過ごすことができている。
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	保育事業 町立保育所運営事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	●2018年度は、芽室幼稚園が認定子ども園に移行し、「芽室町農村地域保育所再整備計画」に基づき、既存の上美生保育所と新設したひだまり保育所の2カ所を町立保育所として運営し、保育の受け皿を拡充した。 ●認可保育所、認定子ども園、小規模保育事業所のほか、町立保育所の運営により、町内の保育施設・環境が整備され、待機児童ゼロの継続に繋がり、保護者の育児と就労の両立支援に繋がった。 ●子どもセンター・児童館を整備し、安定した運営により、子どもの放課後の安全安心な居場所が確保された。		

**(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果**

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

**4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等**

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p>&lt;施策を取り巻く状況&gt;                  保育を必要とする児童の増加や多様化する保護者ニーズに対応するため、町内保育事業の充実が求められている。また、少子化の中でも児童クラブの利用希望者は増加が続いている。</p> <p>&lt;今後の予測&gt;                  国の幼児教育無償化制度により、低年齢児からの保育ニーズが予想される。また、全国的な働き手不足という社会情勢のなかで、保育士等の人材不足が懸念される。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育の町内実施。</li> <li>・保育士、放課後児童支援員等の安定定な人材確保。</li> </ul>

**5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画期間において新たにに取り組むべき課題)**

●課題① 病児保育を求める声の対応 今後も町内での実施に向けた関係機関との協議を進めていく。
●課題② 保育士の確保 将来に渡る安定的な質の高い保育の提供のため、国と連携した保育士の処遇改善を行うとともに、町独自の支援策を検討する。
●課題③ 子どもセンターなどの安定的な運営 安定的な人材確保による機能的な運営を図るため、民間委託などを検討する。

**6. 総合計画推進委員会(庁内評価)**

評価	農村保育所や子どもセンターを整備したことにより子どもの安全安心な居場所が確保されたことは、大きく前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	子どもセンターの民間委託の検討等、機能的な運営を図ってもらいたい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

**7. 総合計画審議会(外部評価)**

評価	農村保育所、子どもセンターの整備、風の子めむろなど子どもの居場所づくりが進んでおり、成果指標である待機児童ゼロの継続・満足度の高さなどから、策定時と比較して大きく前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果		○			
今後の取組に対する意見	子どもセンターは多くの児童に利用されているが、さまざまなニーズに対して、子どもセンターができること、できないことを周知し、保護者に理解してもらうことも必要ではないか。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					